

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年12月16日（木）

午後4時35分 開会

午後5時08分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	知名康司
委員	平安座武志
委員	真喜志晃一
委員	上里広幸
委員	石川慶

副委員長	桃原功
委員	桃原朗
委員	栄田直樹
委員	宮城克
委員	又吉亮

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（5名）

基地政策部次長	多和田功
上下水道局次長	新垣勉
下水道管理係長	山城憲三郎

基地渉外課長	吉村純
下水道施設課長	城間勝也
—	—

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

議事係長	平田駒子
------	------

○ 協議案件

普天間飛行場内消火訓練施設からのPFAS放出報道を受けた現状確認について

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和3年12月16日（木）

○知名康司 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後4時35分）

### 【協議事項】

普天間飛行場内消火訓練施設からのP F A S放出報道を受けた現状確認について

○知名康司 委員長 招集請求委員から今回の招集について説明いただきたい。

○桃原功 委員 12月9日に沖縄タイムスで「普天間第二小近くに汚水、米軍、P F A Sを放出」とのみだしの記事が報道された。内容は、米軍が2018年に作成した水路の地図を特約通信員が米情報公開で入手したというものである。市議会として、早く汚染状況について事実確認をすべきとの趣旨で招集をお願いした。

○知名康司 委員長 本件について、現状の確認のため関係部署より説明を聴取してまいりたいが、説明員を入室させてよろしいか。

（「異議なし」という者あり）（説明員入室）

○知名康司 委員長 当局より12月9日に新聞掲載された普天間飛行場内消火訓練施設からのP F A S汚水放出報道に関して把握している状況の説明をお願いしたい。

～基地政策部及び上下水道局より資料に沿って説明～

○知名康司 委員長 質疑を許します。

○桃原功 委員 2016年にも消火訓練施設では、1リットルあたりP F O Sが2万7,000ナノグラム、P F O Aが1,800ナノグラム検出とあるが、残留性の高い当該物質の普天間第二小学校近辺の土壌への影響や危険性などについて、見解をうかがいたい。

○基地渉外課長 汚水調査の結果がこの値で検出されたということ、また、基地外への流出の報告はないということ、そして、汚水についても米側の報告によるとJ E G S（日本環境管理基準）に従って適切に管理しているという回答を得ているので、当時これ以上、市としては行っていない。

○桃原功 委員 資料の写真1～3の地点は、以前は普天間基地内であった。普天間第二小学校は、200メートル登録が取れなかったため、その分後で返還して200メートルをつくったという経緯がある。そう考えると、高濃度のP F O Sで汚染されていたのではないかと推察できる。このように隣接しているので、基地の外に流れていないといっても、今の当局の見解でよいのかという感じがする。

○平安座武志 委員 2016年以来P F O Sを含む泡消火剤での訓練は行っていないとい

う認識でよいか。

○**基地渉外課長** 2016年3月以降P F O Sを含む泡消火剤を訓練では使用していないということである。

○**平安座武志 委員** 資料の2番に「2016年2月、米側による普天間飛行場内消防訓練地区の汚水調査を実施」とあるが、周囲に飛び散らなかったものではなく、貯水槽に貯めていたものを調べた値が2万7,000ナノグラムということによいか。

○**基地渉外課長** 普天間飛行場内にある消防訓練区域にある汚水ということで、詳細は確認できていないが、何らかの施設で格納されていたものを検出して調査したと認識している。

○**平安座武志 委員** 新聞報道を見ると、排水管が使われてP F O Sが流されたと受け取られるが、この細い排水管が使われたという情報はあるのか。

○**基地渉外課長** 写真1の排水管の情報は今のところない。

○**平安座武志 委員** 総合的な意見だが、今回の新聞報道によると、米上院軍事委員会所属の有力議員からP F O S汚水の状況はどうなのかという問合せに対する回答が情報開示で出てきたというだけとの認識である。それに対し、土壌調査とか話が出てきているが2016年以降泡消火剤を使った訓練は行っていない中で、土壌調査が必要か疑問である。昨日の教育長の回答でも汚水が運動場には行かない高さであるとのことであつたが、構造はどうなっているか。

○**基地渉外課長** 私が配属されてからは普天間第二小学校の関係者から普天間基地の排水管等から水が流れてきたという報告は受けていない。

○**上下水道局次長** 資料の写真2のとおり普天間第二小学校が水路のある地点よりも高い所にあるということからするとパイプからの水が、第二小学校へ流れるとは考えにくい。

○**宮城克 委員** 今回の事の発端はこの記事である。議会の委員会が新聞記事により開催することになった。それに対する根拠、信憑性についてどう考えるか。

○**基地政策部次長** 報道については、事実確認や取材により記事を掲載したと考えるが、今回の記事に対し、我々も当然、防衛局等へ事実確認する必要がある。その確認内容は平成30年と何ら変わらない状況であり、放出もしていないということである。ただ、数値が出たことを米側は認めていることは分かっている。放出の事実の確認は取れていないので、お伝えできることとしては、新聞報道がどうだとは言えないが、事実確認としては、この内容を説明することしかできない。

○**桃原功 委員** さきほど、基地渉外課長が2016年以降訓練では使用していないという説明があつたが、昨年4月10日に基地の南側からP F O Sが大量に漏れ出た件はどう説明するのか。

○**基地渉外課長** 消火訓練においてPFOSが含まれる泡消火剤を使用していないということであり、それまでは、PFOSが含まれる泡消火剤は存在しており、火災発生時に使用したものは適切に処分しているという認識である。

○**桃原功 委員** 昨年も格納庫にPFOSがあり、漏出事故が発生している。普天間基地の中にPFOSがないということではないので、訓練では使用していないという説明だが、2020年に漏出したことを考えるとPFOS自体は保管をしている可能性が高いことを市民に説明ができるようにしていただきたい。また、上下水道局次長より資料の写真から排水側が低くなっているとの説明があったが、私の子供も普天間第二小学校へ通っていたので大雨のたびに、幼稚園側に大量の水が流れていたという事実は何度も目にしている。そのため、流れてこないよう、土壌を高くして現状があるという事実がある。PFASは、蓄積性が高いため今でも土壌に残っている可能性はある。

○**基地政策部次長** さきほどの説明のとおり、流した、流さないという点では、我々から確認とれているのは、放出はしていないということである。ただ、しっかりと確認するために現地立ち入り調査も求めている。それができないので、防衛局からの確認では流出はないということをお伝えするしかない。

○**平安座武志 委員** 把握していれば教えていただきたいが、PFOSの使用はいけないような話に聞こえるが、今、県が管理する看護大、宮古島空港、県庁内など、9施設ほどで、9,570リットルもPFOSを含む泡消火剤が保有されており、火災発生の際は、使われるべきだと考える。決まりでは、使ってはいけないではなく、使った後に適切に処理をすることになっていると考える。この認識でよいか。

○**基地渉外課長** 使ってはいけないというわけではないと認識している。普天間飛行場内においては、順次入れ替えが行われたと認識している。

○**平安座武志 委員** 輸入製造は禁止されていると思うが、現在整備されているものについては、火災発生時には使用し適切に処理するという事になっていると思われる。今、2万7,000ナノグラムという値が米軍だけの問題のように聞こえるが、PFOS含有の物質は1940年代から泡消火剤だけでなくいろいろなものに使われているという認識で、県内でも倉敷環境で2万7,000ナノグラムがだいぶ前に検出された。米軍由来ではないという認識である。宜野湾市内で検出されているのは米軍由来なのか。調査は行ってないとの認識でよいか。

○**基地渉外課長** 原因の特定には至っていないのが現状である。市長からは「蓋然性は高い」と発言している。

○**知名康司 委員長** ほかに質疑があればどうぞ。

○**宮城克 委員** 本件のような事実確認は防衛局に照会しているようだが、直接米軍には聞けないのか。

○**基地渉外課長** 事件事故が発生した場合の連絡体制があり、本市の場合防衛局から連絡が来るということになっている。

○**宮城克 委員** それは取決めがあるのか。

○**基地渉外課長** 約束事となっている。

○**桃原功 委員** 市長は本件についてどう対応していくのか確認はとれているか。

○**基地渉外課長** まだ確認はとれていない。

○**桃原功 委員** 2週間も経っているのに、どうしていきたくも分からないのか。

○**基地渉外課長** 事実確認を行うよう指示を受けており、今のところこれ以上の情報は無いという状況である。

○**桃原功 委員** 市長へは確認した内容を説明したのか。

○**基地渉外課長** はい。

○**知名康司 委員長** 今回の委員会は事実確認という趣旨だがほかに質疑はよろしいか。

○**又吉亮 委員** 日本の暫定指針値 50 ナノグラム・パー・リッターとは、何を基に設定されたのか。

○**上下水道局次長** 本日は排水に関する件と伺ったため、ご質疑の件は手元に資料がないが、環境省による暫定基準ということである。

○**又吉亮 委員** 私の認識としては、WHOも基準値を定めていないという状況の中、アメリカでは70 ナノグラム、ドイツでは、200 ナノグラムの生涯健康勧告値を定めている。生涯健康勧告値とは、アメリカの値でいうと、PFOS、PFOAが1リットル中に70 ナノグラム含まれる飲み水を1日あたり2リットル、70年間飲み続けても健康に害はない、という基準値である。アメリカの一番低い数値が70 ナノグラムなので、日本はそれよりも低い50 ナノグラムを暫定指針値として定めたのではないかという認識である。そこで、今回の本件について、過去に排水されていたとされる場所は、誰かが取水して飲む可能性はあるのか。

○**上下水道局次長** 埋設された排水ボックスに流入しているので、どこかで取水するとは考えにくい。

○**知名康司 委員長** ほかになければ質疑を終わりたいがよろしいか。

(「異議なし」という者あり)

○**知名康司 委員長** 説明聴取を終了する。説明員の皆さんありがとうございました。

(説明員は退室する)

○**知名康司 委員長** 本件については、ただいま執行部より聴取したとおりの状況を確認したので、各会派議員にも共有していただきたい。今回は事実確認ため委員会開催であったので、ほかに意見がなければ終わりたいがよろしいか。

(「異議なし」という者あり)

---

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午後5時08分）